

平成30年度予算 政策的新規・充実事業一覧

(単位：千円)

都市計画局 予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
ニュータウンの活性化に係る取組の推進	<p>平成29年3月に策定された「洛西ニュータウンアクションプログラム」及び「向島ニュータウンまちづくりビジョン」に基づき、地域が一体となって、ニュータウンの活性化に向けた取組が進んでいる。</p> <p>平成30年度は、引き続き、地域主体の取組を積極的に支援するとともに、移住促進に関する更なる魅力情報の発信及び洛西竹林公園等の所管施設の有効活用に向けた取組を推進する。</p>	28,000	都市企画部 都市総務課 222-3610
魅力あるまちづくりを目指した持続可能な都市の構築の検討	<p>本市では、「都市計画マスタープラン」に基づき、「保全・再生・創造」の土地利用を基本とし、交通拠点の周辺に都市機能を集積させるとともに、地域コミュニティを基本とした生活圏の維持・構築を図ることで、それぞれの地域がネットワークされた、暮らしやすく、持続可能な都市構造を目指すこととしている。</p> <p>しかし、今後、一定の人口減少及び高齢化の進行が避けられない状況であることから、平成28年度から、持続可能な都市の構築に向け、人口動向や土地利用の動向などについて調査・分析を開始し、平成29年度は、都市計画審議会に部会を設置し、議論を重ねているところである。</p> <p>平成30年度は、京都の都市特性も十分に踏まえながら、定住人口、産業、文化、交流人口などの視点を基軸に、将来にわたって持続可能な、暮らしやすく、魅力あるまちづくりに向け、「立地適正化計画」制度の活用についても検討を行いながら、都市計画マスタープランの実効性をより高めるプラン及び必要な施策の検討を行う。</p>	19,800	都市企画部 都市計画課 222-3505
空き家対策推進事業	<p>本市では、空き家条例の施行後、普及・啓発や補助金制度等により空き家の活用・流通を促進しているが、今後、人口減少が続くと見込まれる中、放置された空き家が更に増加し、地域コミュニティの活力の低下につながる懸念される。</p> <p>平成30年度は、持続可能な都市の構築に向け、放置されている空き家の活用を更に促進する抜本的な対策を構築するため、新たに以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の戸数、状態、需給の状況を把握するための実態調査</li> <li>・住宅用途以外での空き家活用の方策や税の制度・運用の在り方等を検討する有識者会議の実施</li> </ul>	23,600	まち再生・創造推進室 222-3503

都 市 計 画 局 予 算 要 求 の 内 容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
京町家の保全及び継承に関する取組の推進	<p>本市では、京都の美しい町並み、及び茶道や華道に代表される伝統文化、四季折々の自然と共生する都市居住文化等、個性豊かで洗練された景観・文化の象徴である京町家を将来の世代に継承していくために、平成29年11月に制定した「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」に基づき、重点的かつ効果的に施策を展開していく。</p> <p>平成30年度は、これまでの取組を推進するとともに、新たに以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京町家所有者の保有・継承に係る金銭的な課題への支援 京町家であることに着目した改修助成、耐震改修費用に対する助成の充実、固定資産税負担に対する助成等を行う。</li> <li>・京町家の流通・活用機会の確保 取壊しに関する事前届出制度の施行に伴い、民間の活力を活用した、新たな流通・活用の仕組みの調査研究や試行実施等を行う。</li> <li>・京町家の価値の共有 京町家の価値や支援策に関する普及啓発等を行う。</li> <li>・京町家の保全・継承の取組の効果を高める施策 新築の京町家に関する基準の検討や、京町家の意匠に合う、防火性能を有する木製建具の研究開発等を行う。</li> </ul>	209,500	まち再生・創造推進室 222-3503  建築指導部 建築指導課 222-3620 建築安全推進課 222-3613
地域まちづくり支援の取組の推進	<p>本市では、まちづくり支援の基本方針である「職住共存地区整備ガイドライン」を策定し、都心部のまちづくりにおいて、地区計画の活用によるまちづくりに取り組んでいる。更に、近年多様化する地域のまちづくりニーズに柔軟に対応するため、現在、支援内容の充実について、検討を進めているところである。</p> <p>平成30年度は、これまでの取組を推進するとともに、新たに以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくりを支援する新たな枠組の構築に向けた検討</li> <li>・住宅宿泊事業法の施行を踏まえた、専門家派遣による地域合意形成等に対する支援の充実</li> </ul>	13,200	まち再生・創造推進室 222-3503

都市計画局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
洛西口～桂 駅 間プロジェクト の推進	<p>本市では、阪急京都線洛西口駅付近の連続立体交差事業（鉄道高架化）によって生み出された高架下の空間を活用した、西京地域の活性化に資するまちづくりについて、包括連携協定を締結した阪急電鉄と共に市民意見を聴きながら検討を進めている。</p> <p>平成30年度は、これまでの取組を推進するとともに、新たに以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下公共施設基本設計及び実施設計</li> <li>・地域による主体的なまちづくりを見据えた、人材育成プログラム開発及び実践支援</li> </ul>	36,300	まち再生・ 創造推進室 222-3503
歴史的景観の保 全に関する景観 政策の充実	<p>世界遺産をはじめとする寺社等とその周辺の歴史的景観を保全するため、平成29年7月に、①景観規制の充実、②有効な支援策、③景観づくりの推進の3つを柱とする「歴史的景観の保全に関する具体的施策（素案）」を取りまとめ、条例改正等に向けて手続を進めている。</p> <p>平成30年度は、景観規制の強化に伴う周知・普及啓発や、歴史的な建造物等を保全するための支援策を充実するとともに、景観に関する様々な情報、関連施策を共有できるシステムを構築するなど、歴史的景観の保全に向けた環境整備や制度運用等を行う。</p>	31,200	都市景観部 景観政策課 222-3397
「新景観政策」 の更なる進化に 向けた調査・検 討	<p>平成29年度に実施している新景観政策10周年記念事業で提示された課題や今後の展望を基に、新景観政策の更なる進化に向けた調査・検討を行う。</p> <p>具体的な事業内容として、これからの歴史・文化・創造都市としてふさわしい景観づくりに向け、審議会を設置して調査・検討を行い、シンポジウム等を開催するとともに、魅力ある夜間景観づくりに向けた現状調査等を行う。</p>	16,000	都市景観部 景観政策課 222-3397

都 市 計 画 局 予 算 要 求 の 内 容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
要安全確認計画 記載建築物（指 定道路沿道）耐 震化対策	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき京都市建築物耐震改修促進計画において指定する重要な拠点施設等を結ぶ道路の沿道（指定道路沿道）に位置し、地震により倒壊した場合に道路の通行を妨げるおそれがある建築物（要安全確認計画記載建築物）については、災害時の初動における緊急車両等の通行を確保するため、耐震診断の実施が義務付けられることから、平成29年度は、耐震診断に係る助成制度を設けた。</p> <p>平成30年度は、更なる耐震化を促進するため、新たに以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修計画作成及び耐震改修に要する費用を助成する制度の創設</li> </ul>	10,400	建築指導部 建築安全 推進課 222-3613
安心・安全な東 大路歩行空間創 出事業	<p>多くの市民・来訪者が訪れる東大路通及びその周辺における安心・安全な歩行空間の創出に向け、地元住民や関係団体と情報共有を図りながら取組を継続するとともに、自転車利用に係る課題も含めた歩行環境の改善策の検討を進める。</p>	13,700	歩くまち 京都推進室 222-3483
駅等のバリアフ リー化の推進	<p>平成23年度に策定した「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」等に基づき、駅施設（西院駅（阪急）、西大路駅、桃山駅、京都駅（以上、JR西日本））のバリアフリー化整備を推進する。</p>	248,800	歩くまち 京都推進室 222-3483
京都における自 動運転技術の社 会実装に向けた 研究	<p>近年、自動運転に関する技術進歩は目覚ましく、国においても、未来投資戦略2017で「高度な自動走行の実現に向けた制度整備の加速」が掲げられるなど、今後、自動運転の普及が急速に進んでいくことが見込まれる。</p> <p>こうした状況の中、自動運転技術を市政課題の解決や新たなまちの魅力の創出に結び付けていくため、京都の都市特性に応じた自動運転の活用方法を幅広く検討していく。</p>	18,000	歩くまち 京都推進室 222-3483

(単位：千円)

都 市 計 画 局 予 算 要 求 の 内 容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
定住人口・交流人口に係る交通流動把握調査	<p>観光客の急増や人口減少社会の進展などを踏まえ、限られた道路空間や鉄道バス等を市民等の「定住人口」と観光客等の「交流人口」に効率的に利用していただき、利便性の向上を図る必要があることから、既存データの活用・検証、ビッグデータの活用などを通じて、「定住人口」と「交流人口」の流動実態を把握する。</p> <p>本調査を通じて把握された交通流動の実情等は、既存公共交通の更なる有効活用や、新たな公共交通システムの導入可能性など、今後の交通政策の検討に活かしていく。</p>	60,000	歩くまち 京都推進室 222-3483
都 市 計 画 局 合 計		728,500	13件